

令和3年度 第11回振徳祭・文化の部 開会行事あいさつ

令和3年11月12日

日南振徳高等学校

校長 山下 勉

生徒の皆さん、おはようございます。

この数週間で全国的に新型コロナウイルス感染者が減少し、第5波は収束に向かっているとされています。人類の歴史に残るコロナ禍の時代に高校生活を送っている皆さんは、2年近くも感染対策を優先させたことでオンラインでの行事に慣れてしまっています。本来であれば、学校行事は生徒の皆さんや先生方が一堂に会するとともに、日頃お世話になっている保護者や地域の方々を招待して、同じ空間で同じ時間を共有しながら、楽しい思い出を創っていくものと思っています。

本日は2年前までの文化祭とまではいきませんが、その分は皆さんの“ノリ”でカバーしてください。

今回の振徳祭のテーマ『振徳MEMORY～青春させてもろて～』には、昨年度開催できなかった悔しさが溢れているなど思いました。コロナ禍の現状について「どうして自分たちだけがこんな高校生活なんだろう？」という、どこにぶつけてよいかわからない怒りに似た感情を持っている人もいないかと思っています。

しかし、そういう人こそ、今日一日、文化祭を心の底から楽しんで欲しいと思っています。そして、今の高校生活が満更でもないと思ってもらえることを期待しています。

プログラムを見ると、今日は終日、クラスや部活動あるいは個人活動による発表が盛りだくさんです。それぞれ発表の内容は異なりますが、私は皆さんが今の高校生活に対する思いを精一杯表現してくれるものと楽しみにしています。

最後になりましたが、文化の部開催に当たり、今日まで準備に当たってくれた生徒会役員の皆さんや御指導いただいた先生方、生徒の皆さん全員に感謝します。そして、振徳祭・文化の部を成功させて、日南振徳高等学校に関係するみんなの気持ちがいよいよ一層まとまり、盛り上がっていくことを祈念して校長挨拶とします。